

平成26年度 学 校 評 価 報 告

1 自己評価関係

(1) 本校の教育目標 明るく 元気に がんばる子
スローガン「みんなでつくろう楽しい学校」

(2) 重点目標

「児童が学び合い、活動する時間を確保する」

ア 確かな学力を育てる学習指導の充実

イ 豊かな心を育む教育活動の推進

ウ 健やかな体を育む教育活動の展開

(3) 総 括

分野	自己評価のまとめ(・取組○成果◇課題)	改善策
確 か な 学 力	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 ・個に応じた指導の工夫改善 ・主体的に学ぶ態度を育てることができる学び合い学習の推進 ・家庭での学習習慣の定着 <p>○学び合い学習を通した一人1研究授業の実践により、授業力が向上しつつある。</p> <p>○分かったことや考えを自分の言葉を使って表現できる児童が増加傾向にある。</p> <p>○県学診平均を上回る学年や前年度比較で向上傾向にある学年が増えている。</p> <p>○漢字・計算力テストの合格の割合が目標を上回り、基礎学力の定着につながっている。</p> <p>○中間評価による改善策「学びタイム」で、学力向上の効果が見られた。</p> <p>◇家庭学習では、手引きの活用や強化月間の設定により定着を目指しているが、70%にとどまっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 学びタイムの充実 <input type="checkbox"/> 学びのプログラムの推進 <input type="checkbox"/> 授業改善研修 <input type="checkbox"/> ノートの書き方統一
豊 か な 心	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着 ・生きる力の基盤となる、体験活動を生かした道徳教育の推進 ・個や集団が充実感・成就感をもつことができる特別活動の推進 ・読書活動の充実 <p>○学級経営や学校行事の工夫がみられ、学校が楽しいと実感する児童が96%に達している。</p> <p>◇移動学級文庫で新しい本に触れる機会を与えているが、読書50冊以上の割合が66%にとどまっている。</p> <p>○あいさつ名人の掲示による称賛もあり、自ら進んであいさつできる児童の割合が81%に達している。</p> <p>○児童の生活アンケートを毎月実施し、学習や生活、体罰、いじめに関する情報を収集し、児童を看取っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> あいさつレベルの意識化 <input type="checkbox"/> 縦割り班活動の活性化

<p>健やかな体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育授業の改善 ・ 運動の習慣化を図ることができる体育的行事の工夫 ・ 健康安全についての自己管理能力の育成 ・ 家庭との連携による生活習慣の確立 <p>○各学年に応じたサーキットトレーニングの実施率が向上している。</p> <p>◇学習カードを活用し、目標に向かって体力作りに励む授業にさらに取り組む必要がある。</p> <p>○学活や保健学習を計画的に実施して、児童の健康・安全への意識化が図られている。</p> <p>○朝食摂取率 100%にほぼ達している。</p>	<p><input type="checkbox"/> 体力テスト向上に向けた研修</p> <p><input type="checkbox"/> 6年間を見通せる学習カードの工夫</p>
<p>地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校情報の発信 ・ 三世代交流事業の活性化 <p>○三世代ふれあい集会を工夫して、みんなが楽しめる企画をした。多くの参加と称賛を得ている。</p> <p>○ブログの更新や学校だよりの回覧により、学校情報の公開が活性化し、地域の方から好評を得ている。</p> <p>◇学校の地域への要請の機会が少ない。</p>	<p><input type="checkbox"/> 地域への情報発信の継続</p> <p><input type="checkbox"/> 地域人材の活用</p> <p><input type="checkbox"/> コミュニティースタールの模索</p>

2 学校関係者評価委員会関係

(1) 総合評価

校内、教室環境も素晴らしい。学校の「見える化」に努力されている様子が伺えた。子供たちを第一に考えて、校務分掌が明確となっている。職員一丸となって、様々な施策に取り組み成果を上げている。次年度も数値目標を意識し、計画的継続的な運営を望んでいる。

(2) 分野別評価

分野	学校の取組に関する評価(◎)と今後の改善点(◇)
<p>確かな学力</p>	<p>【A：6人，B：2人・・・・・・・・・・十分達成】</p> <p>◎子どもたちの学力向上がしっかり表れ、先生方の指導の成果が伺える。</p> <p>◎授業態度も落ち着いていて、自分の意見を発表するチャンスがあることも、学力向上につながっている。</p> <p>◎グループ別学習が多く取り入れられ、それぞれが教科書で調べたり、話し合ったりする姿がよく見られる。</p> <p>◎発表する時も、しっかり手を挙げ、自分の意見を言い、他の児童は、それを静かに聞くことができている、落ち着いた学習がなされている。</p> <p>◎一小学びのプログラムを意識した授業がみられ、1年間の成果として、児童の姿勢や態度に現れていた。</p> <p>◎作品のコメントが丁寧であり、個に応じたきめ細かな指導が徹底されていた。</p> <p>◇消極的な児童に対して、教師の働きかけで発言することの喜びを覚えるようにする。学習意欲を引き出すことで学力向上につながると感じる。</p>
<p>豊か</p>	<p>【A：5人，B：3人・・・・・・・・・・ほぼ達成】</p> <p>◎「人にやさしく ふやそう幸せの貯金」は、工夫がなされ効果的である。</p> <p>◎授業で、BGMにより心和む時間を演出するなど、教師の創意工夫が感じられた。</p>

な 心	◇「あいさつ」は基本的生活に欠かせないことで、まず、大人が声かけ手本を示すことが第一歩である。保護者に伝えて協力を得るのはどうか。 ◇読書推進は、豊かな感情の育成、豊かな人間性に役立つので、今後も続けてほしい。 ◇縦割り班活動も異学年交流の大切さを感じるので続けてほしい。
健 や か な 体	【A：5人，B：3人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ほぼ達成】 ◎外で遊ぶ機会がめっきり減っている。体育行事のための練習ばかりでなく、年間を通して行う「業間マラソン」や「サーキットトレーニング」は、続けることで成果が表れるので継続してほしい。 ◎「運動会」「なわとび集会」での児童たちの一生懸命さや歓声は、「継続は力なり」を感じさせる。児童の満足感をたくさん味わわせてほしい。 ◎運動は、楽しさを味わわせながら継続することで体力向上につながる。続けてほしい。 ◎知徳体のバランスを考慮し、体育・運動面も前面に出して活動している。特に、運動種目（鉄棒・持久走など）を重点化して取り組んでいるのは素晴らしい。 ◇ラジオ体操を推進してほしい。
地 域 と の 連 携	【A：6人，B：2人・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・十分達成】 ◎今年からはじまった回覧板での「学校便り」は、地域連携に最適な手法であり、家庭内での話題提供にもつながっている。 ◎ブログや学校だよりの回覧により、学校を身近に感じてもらえている。 ◎学校が情報を積極的に発信していることは大切であり、説明責任を果たしている。 ◇安全管理は大切であるが、開かれた学校はさらに大切であると感じる。 ◇地域人材活用を推奨するにあたり、担任の負担にならないようにすることも大切である。 ◇子供を活用した幼保小や小小連携、小中連携を進めてはどうか。

A：大変満足している B：やや満足している C：あまり満足していない D：まったく満足していない E：わからない
--

(3) その他の意見

- ・ なわとびの縄は、細くて硬いものがよい(二重跳び)など、良い条件で取り組めるよう細かな指導も必要である。
- ・ 音楽の授業の中に、大きく口をあけて全身で歌う時間があるとよい。
- ・ あいさつの大切さや、自分の考えを伝える力、最後まで頑張ることの素晴らしさ、これらのことを身に付けられるよう努力することが、生きていくことの力を養うことにつながる。
- ・ 資質能力を兼ね備えた教師集団だからできる仕事を、存分に発揮できることを期待している。
- ・ 学力向上も喫緊の課題であり、恵まれない家庭への配慮も含め、学校と家庭がより連携することも必要である。
- ・ 学力向上のためにも、目標をもって自学自習できる子を育ててほしい。

※ 学校関係者評価委員会参加者

学校評議員 5名， P T A会長 1名， 前 P T A会長 1名
地域代表者（スクールガードリーダー） 1名